

協議会の役割

- 具体的な取組への専門的な立場からの意見
- 基本構想の取組の進捗管理への意見
- 市民への意識醸成の具体的な働きかけ
- 協議会の参画事業者から同業者に情報共有

意識醸成の実施主体

「意識醸成」に係る取組の関係性

意識醸成に係る主な取組

- ① 葬送に関する市民ニーズの把握
- ② 葬送に関する情報提供

市民の意識を醸成

市民や事業者の反応を踏まえ、情報発信のあり方を随時見直し

(市民ニーズをさらに踏まえた) 情報提供③

更なる市民ニーズの把握

(市民ニーズを踏まえた) 情報提供②

市民ニーズの把握

情報提供

行政・協議会による具体的な取組案

SNSや新聞の活用

- SNS開設-「若者中心」
twitterなど協議会名義のSNSを作成
定期的に葬送に関する話題を提供する
 - 案① 各委員で持ち回り
 - 案② 毎月テーマを決め掲載
- 新聞掲載-「高齢者中心」
葬送に関する話題を新聞のコラム欄等に掲載

パネル展の開催

- 地下歩行空間(チカホ)での開催を想定
「密になりにくい」
+ 「様々な年齢層に見ていただける」
- 「葬送を考える市民の会」の事業をベースに協議会で内容や規模を精査

2021	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022~
		○SNS開設											
							○新聞掲載(※)						
									○パネル展開催(※)				
								○広報さっぽろ掲載(※)					

※ 時期や内容は変更の可能性あり

単身高齢者等に対する情報提供

- 単身高齢者等対象の居住支援ガイドブックに「合葬墓」に関する情報を掲載予定

広報さっぽろ(担当部局と時期・内容を調整中)

- 特集ページへ掲載予定
- 関係者からのコメント欄(協議会委員、その他事業者を想定)
- 協議会に関わる内容を中心に想定
 - 墓の後継ぎの減少(無縁墓の増加)
 - 高齢単身世帯での孤立死の深刻化
 - ・遺骨の引取り手がない
 - ・現状復旧や遺品整理が困難

取組について協議いただきたいこと

- 取組予定のものに係る方向性
- その他取組の候補

成果指標の設定に向けて

施策の全体像における「意識醸成」の位置づけ

基本目標① 葬送について考え行動する市民の意識を醸成します

施策の方向性

- ㊦ 葬送の準備をすることの意義や必要性を広めます
- ㊧ 火葬場・墓地に関する問題と取組への理解を求めます
- ㊨ 葬送関連事業者との連携による取組を進めます

㊨により、
㊦・㊧を
より効果的に

**問題の解決手法の検討
(早期に取り組むべきもの)**

- ㊠ 葬送に対する市民ニーズの把握
- ㊡ 葬送に関する情報提供

- 施策の方向性㊦・㊨より

市民が葬送について考え、行動しているか(できているか)

- 施策の方向性㊧・㊨より

市民、事業者が火葬場・墓地に関する問題・取組を理解しているか

を評価する指標が必要か

成果指標設定にあたって協議いただきたいこと

- 指標となる事項
例) ・終活を実際にしている市民の割合
・火葬場・墓地に関する札幌市の取組への理解度
- 評価方法
例) ・アンケート
・SNSの閲覧数
- 実施方法
- 数値の妥当性検討
目標とする数値はどの程度が妥当か